

～ また来たくなる商店街を目ざす島原一番街 ～

「また来たくなる商店街」を目指し、夏の土曜夜市や秋の青空コンサート等、季節ごとに趣向を凝らした集客イベントを開催。音楽を中心としたイベント等で商店街のイメージ向上とともに、地域住民の交流の場としての機能も高まった。

所在地：長崎県島原市中堀町34-5
 TEL：0957-63-2503 FAX：0957-63-2501
 URL：<http://www.ichibangai.info/>
 組合員数：45名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

長崎県の南東部の島原半島にある島原市。当商店街は島原市の中心部に位置し、「島原一番街」の通称で知られるアーケード型商店街である。衣料品から食料品等の物販店に、サービス業や金融機関があるほか、近隣には観光施設もあり、文字どおり島原市の中心商店街としての役割を担っている。しかし、雲仙普賢岳の噴火以降来街者の減少が続くとともに、郊外型専門店の進出により空き店舗の増加が大きな課題となっている。観光面でも商店街の賑わいは重要であることから“また来たくなる商店街”をテーマに、季節ごとに集客イベントを開催し、商店街のイメージ向上につなげた。

実施した事業の概要

①夏の土曜夜市

夜市では夏休みのはじめからお盆までの毎週土曜日に青年部が主体となって様々なイベントを開催した。定番の輪投げや射的などのほかに、お化け屋敷やマジックショー、巨大バルーンを設置。ステージでは九州出身のシンガーを招き、地元のミュージシャンなども参加して大いに盛り上がり、幅広い年代の人々に楽しんでいただいた。商店街の内部においても、イベントの運営を通じて意思疎通が図られ、青年部や各店舗の協力により元気な商店街をアピールすることができた。

②秋の彼岸映画上映会

商店街近隣の寺町の寺に墓参りなどに来る大勢の人を商店街に呼び込もうと、お寺とコラボで映画の上映を企画した。映画は長崎在住の作家岡野雄一氏、監督は島原出身の喜劇の巨匠といわれた森崎東氏による、認知症の母を切なくまたユーモアラスに描く映画「ペコロスの母に会いに行く」を上映し、参加者には大変喜んで頂いた。

③秋の青空コンサート

商店街に隣接する公園を会場として、市内の中学校・高校のブラスバンド部によるコンサートを実施した。生徒たちの保護者や家族、買い物客など多数の方々が演奏を聴きに訪れた。また、併せて、徳島県阿南市との交流から始まった阿波踊り大会も開催され、日頃商店街に来られない方も多数来街された。

④冬のクリスマスふれあいフェア

冬の商店街を活気づけるため、年末映画上映会や島原音楽まつり、高校生によるチャレンジショップ「島商UP」の閉店セール、ジャンボガラポン抽選会等を行った。抽選会においては、1年の感謝を込めて特別賞に『地元特産品』を詰めた景品を用意し好評を得た。



成果と成功の要因



音楽を中心とした季節ごとのイベントを通じて、普段街に来る機会のない学生やその父兄及び地域外からのイベント参加者等、多くの人々を商店街へ呼び込み、改めて商店街を認識してもらうことができた。

当商店街は、これまでもプロのミュージシャンのコンサートや学生による音楽イベント等を、商店街内の屋内ホールを会場として小規模に開催してきた。今回は商店街全体を会場とし、中学校や島原市、商工会議所等の協力を得て、街全体で賑わいの創出に取り組んだことが成功の要因であると考えている。

今後の取り組み

今回の成功を踏まえ、イベントの継続はもちろんのこと、各個店の魅力アップにも取り組み、イベントでの集客を売上げに結びつけていこうと考えている。また、より継続性のある事業を企画し、地域団体や市、県とも連携していくことで効果を維持していきたいと考えている。

具体的には、人が集まる場として、空き店舗を活用してライブスタジオを設置し、誰でもライブが開けることで商店街の魅力向上に結びつけていきたい。ライブ開催等については、関連団体との連携を強化するとともに広報活動等にも工夫を凝らし、若い人々の来街を促していく予定である。